

## 「心を鍛える」折り返し地点 ～気力は体力から～

11月が近づきました。ついこの前、「2学期のスタートです。」とおたよりに載せたと思っていましたが、あっという間に2学期の折り返し地点になりました。季節も秋というより「初冬」を感じさせるくらい気温もぐっと下がり、吐く息も白くなってきました。

さて、2学期当初の学校だよりに2学期の重点目標を「**心を鍛える**」にすることをお伝えしました。子どもたちにもあらゆる場面で「**心を鍛える**」ことの良さを話してきました。そのために学校だけでなく保護者の皆様のご協力もお願いしてきました。その甲斐もあり、いろいろな変化が見られるようになりました。まず、朝の登校風景が変わってきました。児童数が増えたのではないかと勘違いするくらいテクテク歩いてくる子どもたちが増えてきました。ほんの少しの距離かもしれませんが、歩いてくるのが当たり前になってきているようです。苦手なことにも挑戦するという例では、嫌いな食材が入った給食を残さず食べよう（一口でも食べよう）と努力する児童も増えました。調理員さんたちも「今年は残食量がすごく減りましたね。」と嬉しそうに話してくれました。ちょっとした大人の声かけにより、できることが増えると子どもたちの意欲が自信につながっていきます。この毎日の積み重ねが体力・気力を向上させます。

また、行事の取組として今年度は、マラソン練習にやる気・根気を出させるために周数を縦割り班対抗にして玄関前に貼り出して競わせています。この取組により特に低学年がよく頑張るようになりました。「今日は昨日より多く走れたよ!」「〇〇ちゃんの数に近づいてきたよ。」など得意気に話してくれる子もいます。この校内マラソンでの取組を活かすという意味で、今年度は11月3日に開催される「いしかわっ子駅伝」に大屋小が初めて参加することになりました。男女各1チームで走ります。先月の全校集会では5・6年生の代表選手が紹介され、みんなから激励の拍手をもらいました。後に続く下級生の中には「今度は（いつかは）自分が・・・!」と思った子もいたと思います。また一つ大屋っ子の活躍する姿が増えました。選手の児童は放課後も息を切らせ、汗を流して練習に励んでいます。辛い気持ちをチームワークで励ましながら心を鍛えています。



先日行われた「輪島市小学校合唱のつどい」では、5年生25名の元気な歌声が文化会館の大ホール中に響き渡りました。歌い終わってからのホッとした子どもたちの表情には、やり切った満足感やたくさんの拍手をもらっての充実感、そしてやればできるという達成感といったそれぞれの思いが伝わってくるようでした。緊張しながらも精一杯歌い、聴いている人たちに感動を与えたという経験は、今後の糧となることでしょう。このように「**心を鍛える**」場面はたくさんあります。2学期の折り返し地点として、少しずつ負荷をかけながら子どもたちのいい表情を増やしていくことができるように学校として力を注いでいきますが、引き続きご家庭のご支援もよろしくお願いいたします。